

TBSテレビ「みのもんたの朝ズバッ！」2011年10月21日の報道について

平成23年10月21日(金)放送のTBSテレビ「みのもんたの朝ズバッ！」におきまして、日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」)が内閣府の委託事業として福島県において行います「福島第一原子力発電所事故に係る避難区域等における除染実証業務」に関し、事実に反する内容の放送がありました。このような事実に反する事がテレビを通じて放映されましたことは、大変遺憾に思うとともに、このような報道に対して強く抗議します。

原子力機構は、福島第一原子力発電所事故収束と環境修復に向けた取組に引き続き全力をあげて参る所存です。

【放送内容】

福島県で実施する除染モデル事業についている約120億円のうち、30数億円を原子力機構がピンハネ、中抜きしている。犯罪に近い臭いがしてくる。

【事実関係】

原子力機構は、約119億円の委託費予算で「福島第一原子力発電所事故に係る避難区域等における除染実証業務」を内閣府より受託し実施しております。本事業においては、実施に必要な経費のみを支出し、その結果について国の確認を受けたうえで、確定した額を受け取ることになっています。そのため、事業に要した額以外のお金を他の用途に使うことはできません。

「犯罪に近い臭いがしてくる」との発言は、上記のとおり事実に反するとともに、視聴者に原子力機構の業務運営にあたかも犯罪に近い行為が行われているかのような印象を意図して与えるようにしたものと考えられ、大変遺憾に思います。

【放送内容】

仕事は丸投げでやっている。

【事実関係】

本事業は、今後の本格的な除染をより効果的、効率的に実施するためにどのような技術が適しているかを実証することがその趣旨です。そのため、新しい技術の発掘も視野に入れ、広く公募により実施者を募って行うことにしておりますが、原子力機構はこれまでにやってきた種々の除染技術に関する知見や経験を基に提案技術を精査して実施者を厳選するとともに、適切な指導の下に除染実証を行います。

また、各除染実証後は、その結果を評価し、今後の本格的な広域除染に必要なデータや情報としてとりまとめることとしております。


このように、民間事業者とともに本事業を行うこととしております。

上記の抗議に対して、株式会社TBSテレビから、平成24年5月29日付けで以下の文書を受領いたしました。

平成二十四年五月二十九日

独立行政法人
日本原子力研究開発機構
広報部長 佐久間 実 様

(株) TBSテレビ
情報制作局 情報一部長
竹元 博文



謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成二十三年十月二十一日放送の「みのもんたの朝ズバッ！」に関して、弊社の考え方を
ご説明させていただきます。

私どもの放送は、福島県で実施する除染モデル事業について、貴機構が主張されている「あ
たかも犯罪に近い行為が行われているかのような印象を意図的に与えようとしたもの」で
はありません。また、当該事業において「ピンハネ、中抜きが行われている」と断定した
ものでもありません。

しかしながら、結果として視聴者が「犯罪に近い行為が行われている」と受け止めたとき
れば、本意ではなく誠に遺憾であります。

そもそも今回の放送において私どもは福島県で実施する除染モデル事業について番組で取
り上げることを意図していませんでしたが、結果としてご指摘を受ける様な放送となりま
した。

このことを踏まえ、既に、番組に出演する専門家との間でスタジオにおいてどの様な内容
の話をするのか、また適正な言葉を用いることの確認など、事前の打ち合わせをより綿密
に行うことによって、再発防止に努めているところです。

これは、民間放送連盟等で制定した「放送倫理基本綱領」においても求められている努力
であり、これまでもこれに沿った番組作りを行ってきましたが、更に徹底することとし、
今後とも再発防止を図って参ります。

貴機構におかれましては、こうした弊社の考え方、対応にご理解を賜りますようお願い申
し上げます。

謹白